

A Letter from the Career Guidance Office No10 May 12

今日は相生高校からの志願者が非常に多い兵庫県立大学の今年の入試動向です。

◇ 志望動向（昨年比）

環境人間学部・前期 67・後期 41 社会情報学部・中期 46

◇ 推薦入試の倍率（志願者数/合格者数）

理学部 物質科学 22/15 人 生命科学 18/13 人
工学部女子学生特別枠 電気 5/3 人 応用化学 6/4 人

◇ 学部の統廃合

昨年、経済・経営学部が統合再編

・文理融合型 社会情報科学部新設 ・経済経営系 国際商経学部新設

志願者全体では前年並みでしたが、環境人間学部は、前年の反動で大きく志願者を減らしました。また昨年、設置された社会情報学部は志願者が半減しました。次に推薦の状況ですが、兵庫県立大学理系の推薦入試は、意外に合格率が高いことが注目されます。倍率の低さは今年に限ったことではなく、理学部の推薦入試は低倍率の年が続いています。また工学部には女子学生特別枠があり、こちらも低倍率の入試です。

昨年、経済学部と経営学部が統合され、新たに社会情報科学部と国際商経学部が新設されました。国際商経学部のグローバルビジネスプログラムでは、すべての講義やゼミを英語で学びます。1年時には国際学生寮に入寮して留学生と共に生活します。また5週間の海外語学実習と海外研修などを行っています。現在、県立大学の姫路書写キャンパスでは大幅なリニューアル工事が進められています。



